

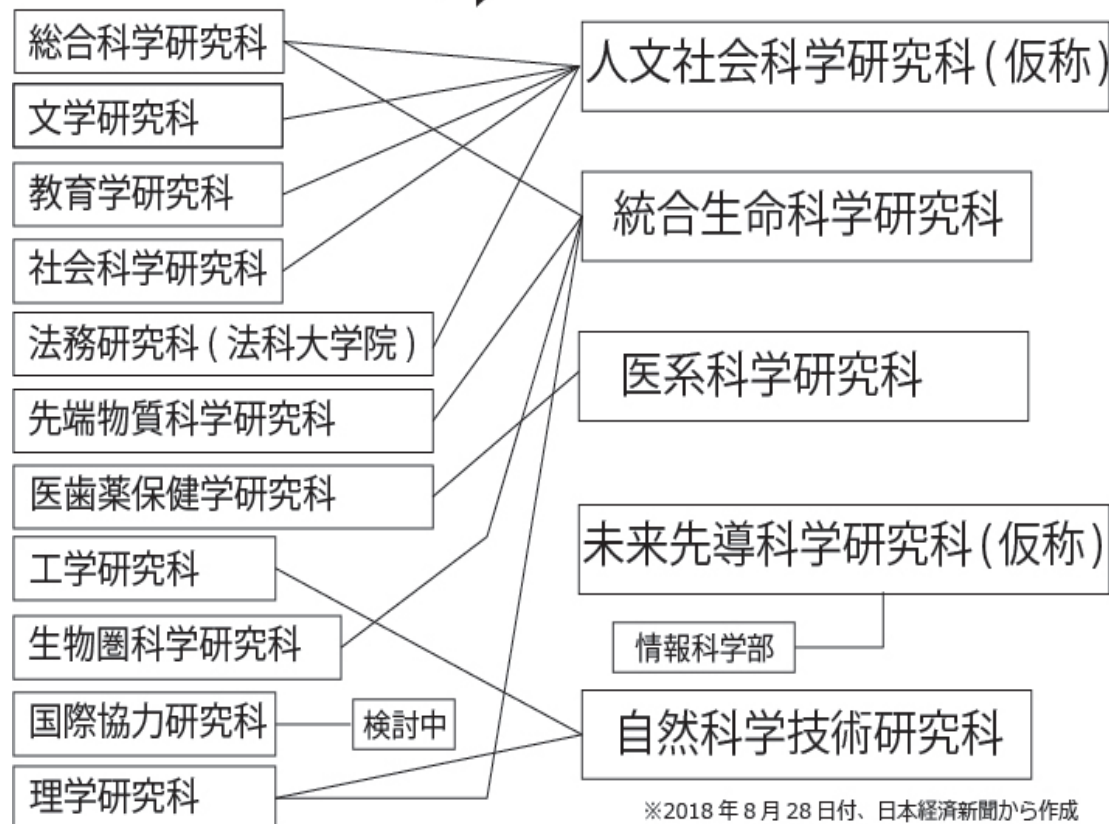
大学再編

反対！

2018年 11 大学院・研究科



2020年 5 大学院・研究科に解消・統合



※2018年8月28日付、日本経済新聞から作成

広島生の皆さん。今、広島大学は大企業の金儲けのための大学改革を行おうとしています。絶対に許すことができません。大学を学生の手に取り戻そう！

◆大学改革反対！

広島大学当局は8月28日、2020年春に大学院の研究科を現在の11から5つに再編すると発表しました。特に、現在ある法学、経済、文学、教育、総合科学部（の文系）の5つの文系大学院・研究科を一つの人文社会科学研究科（仮称）に解消・統合すると言う無茶苦茶な改革です。さらに、理工分野は「自然科学技術研究科」に再編し、物理から地球惑星システム学などの理系6専攻を同研究科に組み入れる。そして最大の目玉は情報科学部を基盤とした「未来先導科学研究科」だと言っています。

これは、院生だけの問題だけでなく、学部生にも関わる

大問題です。特に、この大学院・研究科の解消・統合によって教授数が減らされることは確実です。さらに、人数削減による教授、院生への労働強化・雑務の増加も予想されます。現在でも定年で退官した教授の補充すらしていません。これでまともな授業なんてできるわけがない！特に、文系に至っては“金にならない”という理由での文系縮小そのものです！一対なんのための大学・教育なんだ！

◆経済界の要求丸のみ！

そもそこの大学院再編は日本経団連が発表した「今後のわが国の大学改革の在り方に関する提言」をそのまま反映させた内容です。この提言は、グローバル競争に勝つためにと「高い専門性」「リベラル・アーツ」を要求し、基礎的な文系学部、理系学部の解体、ビックデータを扱う情報学部を要求しています。まさに広大の大学改革は学生の

広島大学学生自治会

委員長 森田 寛隆
hiro dai86@yahoo.co.jp
<http://hiro dai86.blog.shinobi.jp/>



ためではなく、企業のための改革だということです。

ここには、「真理を探究」という大学の理念も、「学生の人格形成」を重視する教育の理念ありません。あるのは、「運営交付金」「科研費」「企業資金」獲得のために大学間競争と国家と企業にこびへつらう大学であり、「軍事研究」や「企業の利益」のために運営される大学の姿です。このような大学で良いはずがない！

◆改憲と一体、大学の私物化

そして大学改革は改憲と一体の重大な攻撃です。安倍政権が提示してる改憲4項目の中に「学費の無償化」が入っています。これは偶然ではなりません。安倍政権は改憲に「戦後レジームの脱却」と一貫して唱えて突き進んでいます。改憲は国家体制・統治転換の一大攻撃であり、大学・教育がその要になっているからです。

実は、安倍が進めようとしている「学費の無償化」は「無

償化」の条件に学生側の条件があるだけでなく大学側にも課せられています。これは①卒業単位の1割以上の単位を「実務経験のある教員」（つまり、産業界の人材）とし、また、企業などを大学経営に参画させるために、②理事に産業界等の人材を複数任命することを条件としています。「無償化」を餌にした資本による大学の支配がこの攻撃の本質です。

◆戦争と金儲けの大学否定し、大学を取り戻そう

今こそ、学生は大学改革に反乱を開始する時です。今年問題になり、今も話題になっている日本大学による田中理事会体制の独裁、東京医科大学の女性受験生の差別問題などはその冰山の一角です。しかし、国家や資本が進める「教育」にもはや正義性の一遍もないことが、誰の目にも明らかになっています。

広島大学でも、グローバル教育と称して導入し、学生に3時間同じ授業を続けるターム制度、部活を体育会などの学生組織の自治運営ではなく企業による運営・管理に換えるNCAA構想。そして、サークル・部活に違反があれば自ら団体を解散することを誓う「誓約書問題」を始め、あらゆる怒りが学生から吹き出しています。

大学は一部の企業の金儲けのために存在しているのではありません。大学を学生が全社会のために取り戻そう。

大学改革反対、安倍政権の改憲を止めよう！広大生は学生自治会とともに闘おう。

改憲阻止！官邸前行動へ



12月6日(木) 午後6時
@首相官邸前 主催: 全学連

東洋大学ビラまき弾圧を跳ね返したぞ

2学友を奪還!



11月22日、「11・4東洋大ビラまき弾圧」で不当逮捕されていた、作部羊平君と内海佑一君の不起訴・釈放を勝ち取りました! 救援運動への多大なご支援、本当にありがとうございました! (左写真左から、斎藤いくま・前全学連委員長、内海君、作部君、高原恭平・全学連委員長)

大学でビラをまいただけで逮捕(そして長期勾留)——こんなデタラメが許されるはずがありません。

今回のビラまき弾圧は、安倍政権が進める改憲・戦争政策の一環として引き起こされたものであり、共謀罪の先取りそのものです。大学キャンパスにおける学生のあらゆる自由や権利を奪い、戦争に反対する学生の闘いをつぶそうとするものです。この弾圧

をはね返し2学友を奪還したことは、大きな意味を持っています。

すべての学生みなさん、キャンパスから「改憲阻止」「戦争反対」「規制強化粉碎」の声を大きくあげていこう! さらに、京都大学で11月20日に不当逮捕されてい2学生を取り戻そう。